

伊那市議会

議長 黒河内 浩 様

伊那西部保育園存続に関する要望書

昨年末、伊那西部保育園について「5年間の休園期間の後、平成29年3月31日をもって廃園する」という方針が市から示されたことを受け西部地区関係者による協議をしてまいりました。併せて地区住民の意向を確認するためアンケート調査も実施しました。その結果、下記の理由で西部地区内の存続を強く要望します。伊那西地区民としても豊かな自然環境やスマートインターなどの交通事情を活かした魅力ある地域づくりを進め、住民や子どもが増えるような住みよい環境づくりを行い、西地区一丸となって保育園再開に取り組むことを確認しました。貴職に置かれましては地域との対話を続け慎重な対応をお願いします。

記

地区住民へのアンケートの結果、住民の60.2%がこの地区に保育園は必要、内66.4%が伊那西小内か近くに必要としている。西地区でのよりよい子育て環境に公立公営の保育園は欠かせないものである。(住民の意向)

西部保育園定員60名の50%確保は地区の実情に合わない。未満児保育・延長保育の設置および保育園の施設整備基準の見直しが必要である。(定数・施設整備基準の見直し)

伊那西地区において一校一園体制が不可能となり、他の保育園に園児が分散することにより、地域とのつながりを大切にした子育てや地域に根ざした保小連携教育ができない。(保小連携)

人と人のつながりを大切にした活動の多い西地区において、祭典や体育祭・文化祭等への保育園の参加がなくなり、地域とのつながりが希薄になっている。(地域とのつながり)

平成29年 2月 3日

ますみヶ丘区長
(西地区区長会長)

小 沢 区長

平 沢 区長

横 山 区長

内の萱 総代

大 坊 総代

中の原 総代

伊那西公民館長

伊那西小学校PTA会長

伊那竜南保育園理事

伊那竜西保育園理事

伊那竜西保育園理事

平成28年12月1日

伊那市子ども・子育て審議会長 様

保育園運営体制部会
部会長 倉澤 邦弘

保育園運営体制部会報告

保育園運営体制部会は、保育園の運営体制のあり方について検討した結果、下記のとおり意見をまとめましたので報告します。

記

「子どもが減っていく将来にあっても保育園を続けられる体制づくり」のために次のような取り組みが考えられる。

- 1 保育士が安定的に雇用される環境が充実すれば、保育士のなり手も増える。雇用環境が充実し、保育士という職業が魅力的なものとなれば、保育の質の向上やニーズへも柔軟に対応していける。
- 2 保育園は保護者や地域住民にとってなくてはならない存在であるため、閉園は避けたいという思いは尊重されるべきである。
- 3 小さな保育園であっても存続できるよう公立と私立のそれぞれの特徴を活かして、その役割と負担を持ち合うことで課題に対応していくことができる。
- 4 保育園にはそれぞれ園の特徴があり、この特徴は大切にし、より伸ばしていく必要がある。そうすることで他園との差別化が図られ、保護者の選択肢が増えることとなり、保育の多様性につながっていく。

○部会開催状況

- ・平成28年 7月 7日 第1回部会
- ・平成28年 8月25日 第2回部会
- ・平成28年10月 7日 第3回部会